

彫刻をつくろう！

～塑造による石膏レリーフづくりに挑戦～

塑造（そぞう）とは？

・・・粘土・油土・ろうなどで彫刻の原型を造ること。

石膏（せっこう）とは？

・・・彫塑像の復元、型取り用として古くから用いられている白い塗料で、固まると長く保存しやすい素材になる。
「石膏像」の例としては、ミケランジェロのブルータスやミロのヴィーナスなどが広く見受けられる。

レリーフ（浮き彫り）とは？

・・・平面に絵・模様・文字などを浮き上がるように彫る彫刻技法。

◇日 時 12月5日（土）と12月19日（土）

どちらも午後1時～5時（予定）

◇会 場 月見の里学遊館

ものづくり、文字・文のワークショップルーム

◇参加料 500円（材料代・2日間分）

◇内 容 東京藝術大学の先生方の指導を受けながら、マニュアル本を使い、石膏レリーフ（彫刻）を作成します。

（※東京藝大の先生方にはリモートで指導していただきます。）

◇申込み 参加を希望する場合は、担当の先生へ「学年、氏名」を伝えてください。



Plaster relief book

世界で袋井にしかないオリジナルの石膏レリーフBook（マニュアル本）

袋井市では東京藝術大学と連携して、多くの人に彫刻作品に触れる機会を提供しようと2017年から石膏を使ったレリーフ作りのマニュアル本を作成してきました。

レリーフ作りを通して、彫刻制作体験をわかりやすくサポートすることを目的とした本になっています。

ブックデザインは東京藝術大学のアーティストが行いました。

線画を基調に絵本の様に見やすくデザインされています。

12月5日と19日にワークショップ開催

石膏レリーフBook（マニュアル本）を使い、彫刻づくりワークショップを開催します。

東京藝術大学の教員が実際に制作サポートをしてくれます。

なかなかできない貴重な体験です。

この機会に楽しいレリーフ（彫刻）制作に参加してみよう。

